

令和5年度 第2回 町民大学

関東大震災から100年！  
今だから知っておきたい

回覧

# 松田町の成り立ちを知ろう

## ～変動する神奈川県西部の大地～

足柄平野がどうやってできたのか、皆さんはご存知ですか？松田町の成り立ちは？そんな神奈川県西部の大地の歴史を紐解いていきます。

今年は、関東大震災から100年。松田町の成り立ちを知ることは、今後の松田の大地を知る手掛かりとなるはずです。ご参加をお待ちしています。

**日時 令和5年10月7日（土）**

**10：00～11：30**

**場所 生涯学習センター 1階 展示ホール**

**講師 県立生命の星・地球博物館**

**学芸員 にしざわ 西澤 ふみかつ 文勝 氏**



### <講師プロフィール>

趣味：親友との輪読、料理

専門：火山灰編年学（かざんばいへんねんがく）  
火山地質学・第四紀学（だいよんきがく）

研究：火山碎屑物（かざんさいせつぶつ）の層序学的研究・爆発的火山噴火史の解明

お問い合わせ・申し込み

松田町教育委員会 生涯学習係

申込受付 10月4日（水）まで

**TEL 0465-83-7021**

## 23年度 郷土史料展示会 及び 歴史講座(第2回)

# 『<sup>からさわ</sup>唐沢・<sup>かなんざわいせき</sup>河南沢遺跡を知って』

## ～<sup>がよう</sup>横穴墓・<sup>こだいみち</sup>瓦窯と相模国古代道～

松田町には、7世紀から8世紀初期の頃の瓦窯・そこで焼かれた軒丸瓦・その近くの横穴墓から圭頭大刀(装飾大刀)が出土しています。これらの3つのことを考え合わせると、県下でも『他に類を見ない遺跡』と言えるでしょう。

この瓦窯では、古代瓦初期・白鳳期(奈良時代の前)文様の軒丸瓦を造っており、小田原市の千代廃寺や大磯の吹切遺跡に供給していました。加えて、古代国家の象徴とも言うべき、約1300年前の圭頭大刀(装飾大刀)が、すぐそばの横穴墓から出土しています。当該大刀は、青山学院大学に保管されており、残念ながら今回、松田町への「里帰り」は、かないませんでした。現在も黄金の光を鈍く輝き放っている大刀の柄頭やつばは、紙面(写真)で紹介いたします。展示では、軒丸瓦を中心にこの瓦の供給先や当時としてはハイテクの瓦焼き技術伝播について、相模国や駿河国の古代道等に言及した解説(私見)も発表・展示いたします。

また、歴史講座では、これらの遺跡について、更に詳しくご説明いたします。古代松田の歴史と一緒に学んでみませんか。

### 展 示 (見学自由)

開始日 9月26日(火)～

場 所 松田町生涯学習センター

### 歴史講座

日 時 10月22日(日)

10:00～11:30

場 所 松田町生涯学習センター大ホール

講 師 文化財保護委員

草門 隆 さん



軒丸瓦



金銅製圭頭大刀

お問い合わせ・申込み 歴史講座 申込み受付 10月19日まで

松田町教育委員会 生涯学習係(生涯学習センター内)

☎ 0465-83-7021